

環境建設工学科 在学生の声



吉良郁美（きらいくみ）さん

出身：愛媛県・済美平成中等教育学校

学年：修士1回生

学部生時の所属：社会デザインコース

環境建設工学科社会デザインコースの志望理由

生まれてから今まで過ごしてきた愛媛県で、陰ながら人々の命を守ることのできる防災事業に関わる仕事をしたいと考えていました。橋梁や地盤・地震工学などのハード面だけでなく、街づくりなどのソフト面に対しての知識を育む社会デザインコースに入学することで、より土木全般を幅広く学ぶことができると考え志望しました。

将来のキャリアパスについて

南海トラフ巨大地震などの災害が発生した際に、土木を学んだ身として少しでも愛媛県の復興に携わり地元貢献したいと考えており、そのために愛媛県の土木職の公務員を目指しています。

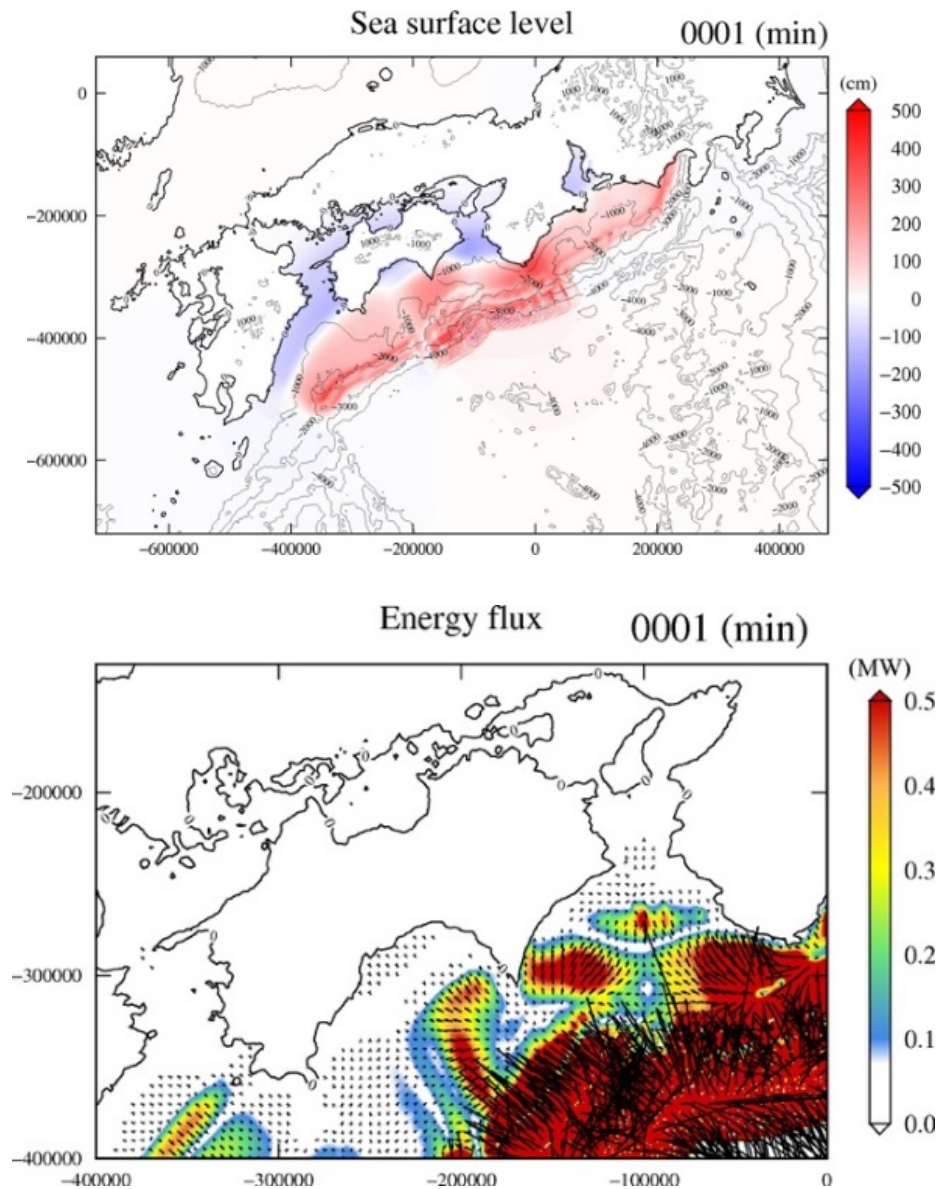
大学生のライフスタイル

愛媛大学は市街地に近いため、学部生の時は友人と空きコマに街に出ることもよくありました。大学院生になってからは、授業と研究を同時進行で進めています。今は忙しすぎることはなく、バイトをしてたまに友人たちと飲み会を開き、長期休暇には旅行に行き、充実した大学生活を送れていると思います。

研究のテーマ

南海トラフ巨大地震が発生した際の、紀伊水道周辺海域における波高やエネルギーを、プログラミングを用いて計算しています。

津波警報が解除されてから救助活動が開始されるので，これ以上津波による被害が発生しない適切なタイミングでの津波警報解除が重要となってきます。



研究結果の例

この研究が，迅速な人命救助に役立つことができるように修士研究を進めていきたいです。

環建ライフの良いところ

1回生の前期には授業が朝から夕方まで詰まっていたので大変でしたが、友人たちとずっと一緒に授業を受けていたおかげで早い段階で仲良くなれたと思います。また、実験・実習やグループワークなどの授業が多いため、座学で学んだ知識を実際に生かす難しさや、友人たちと協力して一つのことを成し遂げる達成感を味わえるところが環建ライフの良いところです。

受験生の皆さんにメッセージ

環境建設工学科には構造工学や地震工学、生態系、沿岸防災、都市計画など、多くの土木分野に特化した研究室があります。入学時にまだ将来の夢がはっきり決まっていなくても、環建で過ごしていくうちに自分に適した研究分野を見つけ、そこから将来のビジョンも見えてくると思います。自信を持って勧めることのできる本学科で、一緒に環建ライフを送りましょう。